

# 人権だより

(令和6年度 夏季研修号)

川之石高校人権委員会 担当 3年次3組

いよいよ2学期が始まりましたね。今月号では、8月2日(金)に八幡浜高校で実施された「令和6年度人権委員夏季研修会」と、8月24日(土)にゆめみかんで開催された「2024年度人権フォーラム」に参加した人権委員の感想をお伝えします。

## 令和6年度 人権委員夏季研修会



八幡浜高校のいづしね館に、川之石高校・八幡浜高校・八幡浜工業高校・三崎高校・愛宕中学校の人権委員が集まり、学習会を行いました。本校からは、委員長、副委員長、書記の人権委員が参加しました。

昨年、本校に勤務されていた川口先生の「部落問題について考えよう～あなたは差別を100%否定できていますか～」というお話を聞きました。どの学校の人権委員も、真剣に話を聞いて積極的に活動をし、学びを深め

ていました。本校の3人の感想を紹介します。

○今回の研修会に参加して、「無自覚の差別意識」について考えるようになりました。私は、差別を許す側の人間に当てはまっていた。これからは、差別をなくす側の人間になれるように、日頃の言葉遣いや行動を見直したいと思いました。「差別をしない生き方が人を幸せにする。」という言葉がとても印象に残ったので、家族や友達にも伝えたいと思いました。

○「差別」と聞くと、「差別をされている人がかわいそう。」だと思っていました。でもそれは、何もしないで放っている「差別を許す側」にすぎないことを学びました。「自分は差別をされていないから安心だ。」と思っている時点で差別は生まれています。「被差別部落の人たちには、差別をされる理由は何もない、堂々と生きればよい。」という言葉が印象に残りました。自分がとる行動が、相手に嫌な思いをさせず、笑顔にできるのかどうかをよく考えて行動したいです。

○私は自分のことを差別はしない人間だと思っていました。でも今回の学習を通して、「被差別部落の人々は差別をされている人だ。」と思っている時点で自分は差別者なのだと分かりました。今まで、差別をされている人には「かわいそうだ、寄り添ってあげたい。」と思っていましたが、他の人と同じ対応をとることが「差別をしない人」の



することだと分かりました。これからは、今回の研修で学んだ考えを意識して活動していきたいです。また、学校に帰って他のみんなにもこの考え方を広めていきたいと思います。

とても深い学びになったようです。みなさんは、「被差別部落の人はかわいそう。」だと思いますか。それとも「自分と何も違わない。何とも思わない。」でしょうか。お話の後は、それぞれの学校で人権カレンダーを作りました。友達に紹介したい言葉を選んで、載せています。校内にも掲示しますので、ぜひ見てください。

## 2024年度 人権フォーラム



8月24日（土）にゆめみかんで行われた2024年度の人権フォーラムには、本校から人権委員が5名参加しました。

久万中学校の皆さんは、練習を重ねてきた川瀬歌舞伎を披露しました。大変すばらしい演技でした。また津島中学校のみなさんは、宇和島東高校津島分校のみなさんと、詩の朗読をしまし

た。差別は許されないという強い決意が伝わるものでした。写真は愛宕中学校のみなさんの合唱です。このほかにも、さまざまな団体の発表がありました。参加した人権委員の感想を以下に掲載します。

○初めて人権フォーラムに参加しました。講演を聴くだけだと思っていたら、さまざまな団体が個性の光る発表をしていて、素晴らしかったです。宇和島市の「夜明けの歌」が一番心に残っています。差別を受けた方が書いた詩でしたが、生徒さんの朗読がすばらしく、感情が伝わってきました。差別をする人間を「黒い影」と例えていました。差別はあってはならないものだとは再認識することができました。

○実際に差別を無くそうと行動を起こしている人の覚悟がすごくて、圧倒されました。身近なところでこんなに活動があることを知り、またぜひ参加したいと思いました。発表の中でも、耳の不自由な方が音楽にのってダンスをしていたのが印象に残りました。耳の聞こえない方はリズムがわからないから踊らないだろう、という自分の無意識の偏見に気が付きました。自分がいかに狭い視点で世の中を見ていたか分かったので、偏見を取り払って私も自分のやりたいことを追求したいと思いました。

○人権フォーラムに参加して、どんな苦労や困難があったとしても立ち上がって自分のやりたいことや目標に向かって進むことが大切なのだと感じました。私は、しんどいことや辛いことはあまりやりたくないと思っていました。どんなに壁が高くても、立ち向かっていくことが大事なのだと教えてもらいました。

○各団体が違う視点からそれぞれ人権について深く考えていて、自分の人権感覚を振り返る良いきっかけになりました。一番印象に残っているのは、松野町あおぞら子ども会の「鹿と共に生きる」です。自分たちの町の課題を見つけて実際に動くその行動力がすごいと思いました。僕も見習いたいと思いました。